

第196回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時:2006年 7月28日(金) 13時~17時15分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1445教室(14号館4階)** [アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題:LC、LC/MSにおけるコンタミネーションの原因とその予防・対策法

開催趣旨:HPLC、LC/MSは分析装置の中でも最も多用されているものです。しかし、多成分・高感度分析が進むにつれ、分析操作時における汚染を原因とする分析エラーが問題となるようになりました。今回の研究懇談会では試料の調製から検出までの各ポイントにおいて考えられるコンタミネーションの原因とその予防と対策法について解説します。

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(日本ミリポア(株))石井 直恵

2. サンプル前処理におけるフィルター選定のポイントと活用法 (13:05~13:35)

(日本ミリポア(株))熊井 広哉

3. 溶媒におけるコンタミネーションの原因とその対策法 (13:35~14:00)

(関東化学(株))澤田 豊

4. 移動相調製用純水による汚染要因と対策法 (14:00~14:30)

(日本ミリポア(株))石井 直恵

5. LC/MS分析におけるサンプルバイアル由来コンタミの影響と対策 (14:30~15:00)

(日本ウォーターズ(株))津田 葉子

6. オートサンプラーのコンタミネーション低減 (15:15~15:45)

((株)島津製作所)増田 潤一

7. 測定過程での目的物質定量へのコンタミネーション (15:45~16:15)

(病態解析研究所)菱沼 義寛

8. LC/MSで経験するコンタミと対処法 (16:15~16:45)

(日本電子(株))高橋 豊

9. 総括:コンタミネーションを考える (16:45~17:15)

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、会員外:3,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572]